

漁海況情報

第453号（平成22年3月17日発行）

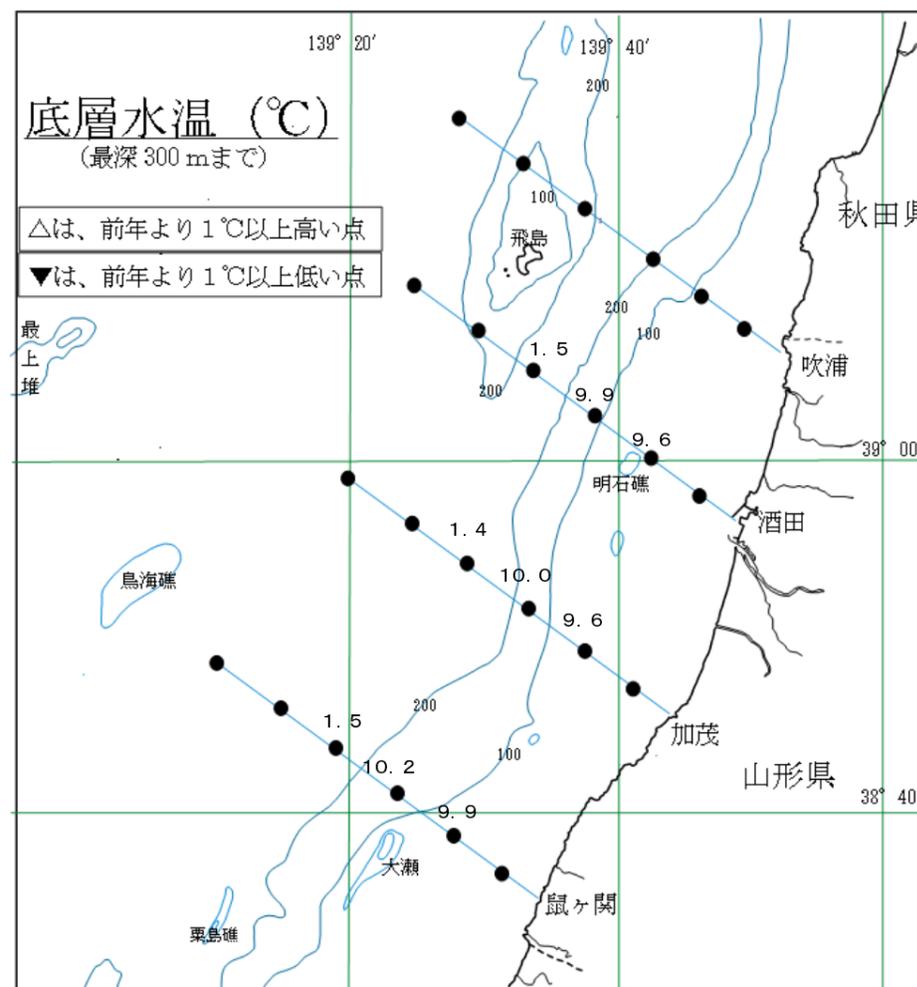
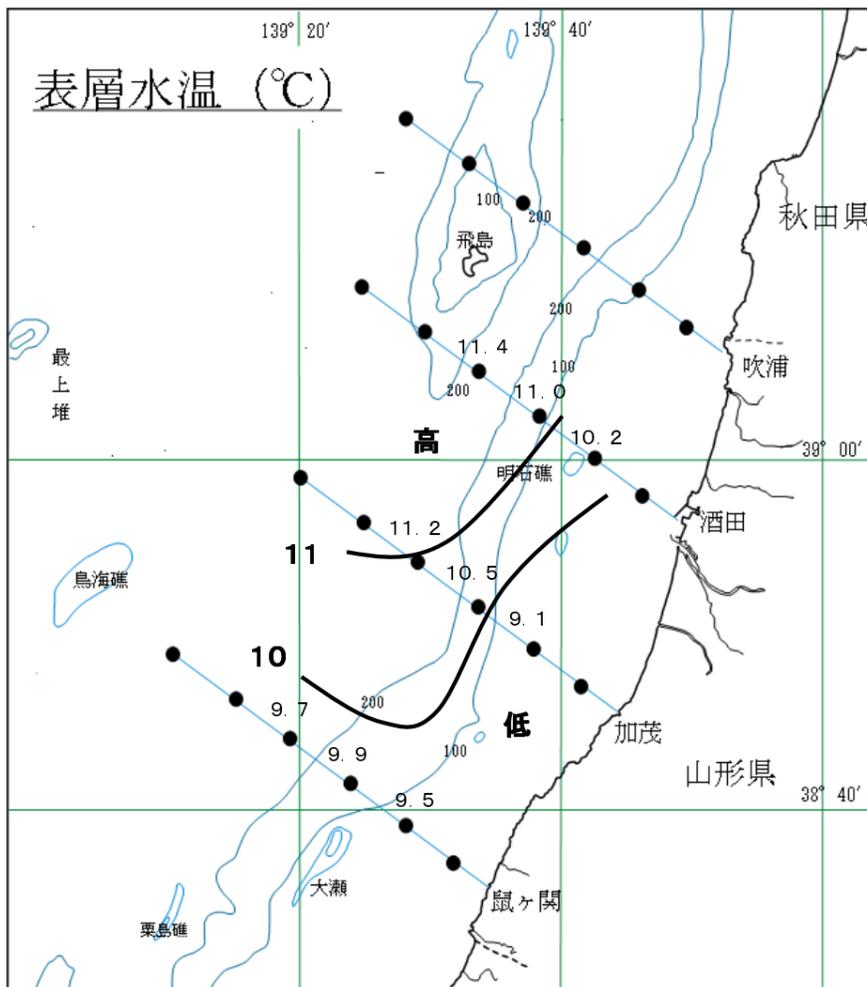
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

漁業調査船「最上丸」は2月24日、3月4日に、本県沿岸の定点観測を行いましたので、その結果を報告します。

- ・表層：水温は9～11℃台で、平均水温は10.3℃でした。平年と比べて1.3℃高く、かなり高めとなっています。
- ・50m層：水温は9～10℃台で、平均水温は10.0℃でした。平年と比べて0.6℃高く、やや高めとなっています。
- ・100m層：水温は9～10℃台で、平均水温は10.1℃でした。平年と比べて0.8℃高く、やや高めとなっています。
- ・200m層：水温は4～7℃台で、平均水温は6.4℃でした。平年と比べて0.1℃低く、平年並みとなっています。
- ・300m層：水温は1～2℃台で、平均水温は1.9℃でした。平年と比べ0.1℃高く、平年並みとなっています。
- ・底層：観測点では前年並みとなっています。
- ・地先水温：水産試験場、栽培漁業センターとも平年よりやや高めの水温になっています。

地先水温 [2月の平均値]

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	8.0℃	-0.2℃	+0.7℃	やや高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬)	9.9℃	+0.3℃	+1.1℃	やや高い



水温は表層～200m層がかなり高め～やや高め、200m～300m層が平年並みとなっています。

	各層別の平均水温					単位:℃
	表層	50m層	100m層	200m層	300m層	底層
本年	10.3	10.0	10.1	6.4	1.9	7.1
前年差	+1.4	-0.1	+0.1	+1.9	+0.6	-
平年差	+1.3	+0.6	+0.8	-0.1	+0.1	-
評価	かなり高い	やや高い	やや高い	平年並み	平年並み	
(前月評価)	(平年並み)	(平年並み)	(平年並み)	(はなはだ高い)	(平年並み)	

*水温の表現: "平年並み"は約2年に1回, "やや"は約4年に1回, "かなり"は約10年に1回, "はなはだ"は約20年に1回の出現確率を表しています。

今期の寒ダラ漁のまとめ

今期(1月上旬から2月下旬まで)の寒ダラ漁は、255トンで前年の10.5%、平年(過去10年)の95%となり、予測の330トンと比べ75トン少なくなりました。

今年の特徴

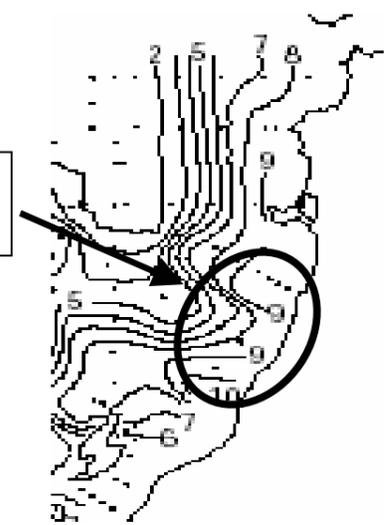
①北部日本海(秋田・山形・新潟)では海域間で好不漁の幅がありました。秋田県は男鹿でまとまった漁獲がありました。山形県は南部で芳しくありませんでした。新潟県は粟島、山北を中心とする本土は芳しくなく、佐渡でまとまった漁獲がありました。原因の1つとして、佐渡島と男鹿半島の間の海域の2月上旬の200m層水温が10℃前後と例年になく高水温になり、産卵群の分布が男鹿半島と佐渡島周辺に偏ったことが考えられます。

②漁獲のピークが1旬遅れて2月上旬になりました。

③2月に入り単価が大幅に下がりました。

なお、2006年生れが卓越年級で2010年から漁獲が大幅に増加するのではないか考えられていましたが、今期の北部日本海ではそこまで増加しておらず、今後北部日本海の漁獲状況、体長組成等を中心に検証していきます。

平成22年2月200m層
水温
9～10℃とかなり高め



2月の漁況

概況

- ・延べ操業隻数は、2,092隻で前年比129%でした。
- ・総漁獲量は、446トンで前年比108%でした。
- ・底びき網漁業の漁獲量は359トンで、前年比106%でした。ヒラメ、ハタハタ、スケトウダラ、アカエビが前年を上回りましたが、タイ類、マダラは前年を下回りました。
- ・さし網漁業の漁獲量は10トンで前年比119%でした。ヤリイカが前年を上回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は22トンで前年比151%でした。タイ、サメ類、タコ類が前年を上回りました。
- ・その他の漁業では、やりいか釣漁業(ヤリイカ)、やりいか定置網漁業(ヤリイカ)、かご漁業(タコ類)、採貝藻漁業(アワビ、サザエ、ナマコ)、張網漁業(ソイ・ドコ、マダラ、ヤリイカ)は前年を上回りましたが、たらさし網漁業(マダラ)は下回りました。

* 前年比は平成17～21年までの平均値と比較した値です。

全漁業支所別漁獲量

単位: kg

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	51	694	171	149	235	289	105	398	2,092	140%	129%
総漁獲量	34,022	28,964	85,166	21,961	78,449	36,953	3,276	157,704	446,400	117%	108%
前年比	112%	95%	129%	130%	112%	122%	211%	115%	117%		
前年比	120%	117%	133%	120%	118%	113%	170%	92%	108%		

底びき網漁業

単位: kg

支所	吹浦	酒田	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	27	73	11	85	43	166	405	121%	100%
タイ類		323	9	172	161	421	1,086	24%	38%
ヒラメ	161	325	372	275	554	799	2,486	167%	126%
マダラ	14,677	47,128	78	31,567	10,975	46,831	151,256	132%	75%
ハタハタ	4,197	5,975		23,203	11,695	56,989	102,059	89%	162%
スケトウダラ	6,683	10,123		3,886	1,170	11,329	33,191	139%	172%
アンコウ	265	961	338	1,052	1,001	4,047	7,664	119%	95%
アカエビ	445	2,186		667	550	13,074	16,922	183%	184%
ヤリイカ	83	206		373	157	2,008	2,827	444%	94%
その他	2,223	8,090	594	8,766	4,752	17,336	41,761	159%	136%
計	28,734	75,317	1,391	69,961	31,015	152,834	359,252	119%	106%
前年比	112%	149%	246%	108%	112%	115%	119%		
前年比	101%	144%	80%	115%	109%	92%	106%		

その他の漁業

単位: トン

漁業種類名	たらさし網漁業	やりいか釣漁業	やりいか定置網漁業	かご漁業	採貝藻漁業			張網漁業		ふぐはえなわ漁業	
延べ操業隻数	31	199	3	177	473			21		14	
対象魚種	マダラ	ヤリイカ	ヤリイカ	タコ類	アワビ	サザエ	ナマコ	ソイ・ドコ	マダラ	ヤリイカ	フグ
漁獲量	6.1	1.8	2.7	6.0	1.8	1.9	3.4	1.2	2.1	1.2	0.4
前年比	53%	395%	6350%	106%	112%	154%	257%	263%	132%	305%	72%
前年比	49%	145%	1996%	120%	146%	190%	153%	165%	236%	196%	103%

さし網漁業

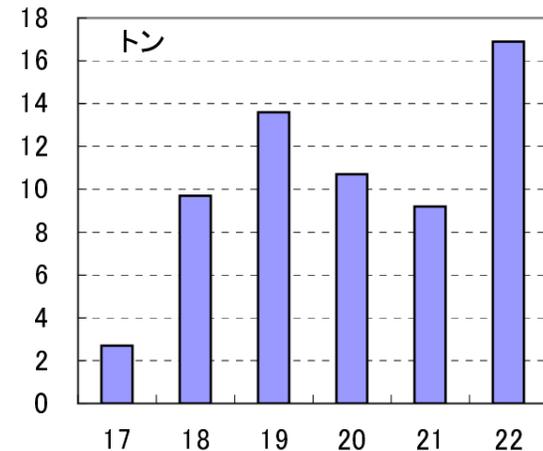
単位: kg

支所	飛鳥	酒田	由良	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	185	60	24	10	49	328	137%	145%
口細		1,349	1,922		466	3,737	133%	103%
イシガレイ		313	821		109	1,243	72%	91%
ヤリイカ	1,762		2			1,764	198%	192%
その他	682	1,421	749	168	717	3,737	123%	130%
計	2,444	3,083	3,494	168	1,292	10,481	124%	119%
前年比	191%	91%	177%	21%	126%	124%		
前年比	192%	106%	162%	10%	166%	119%		

はえなわ漁業

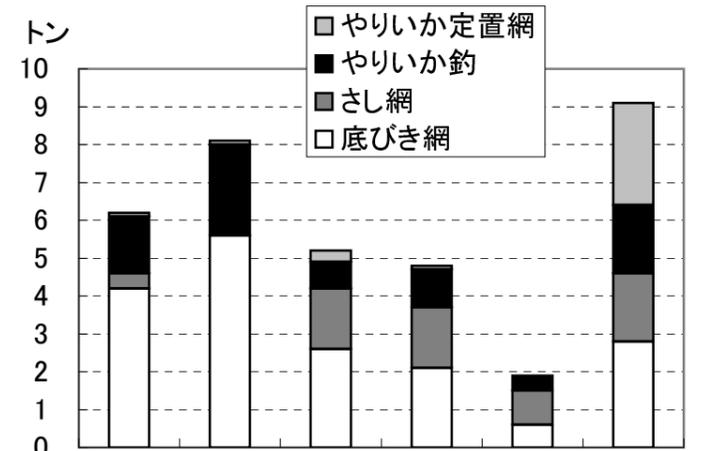
単位: kg

支所	吹浦・酒田	加茂・由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	21	91	119	49	49	329	143%	136%
タイ			12	1,774	1,424	3,210	98%	145%
サメ類	4,113	26	62			4,201	138%	252%
タコ類	13	8,122	4,001	402	100	12,638	176%	148%
その他	619	90	136	476	619	1,940	169%	91%
計	4,745	8,238	4,211	2,652	2,143	21,989	147%	151%
前年比	211%	160%	216%	199%	78%	147%		
前年比	292%	138%	131%	183%	107%	151%		



アカエビ漁獲量
(底びき網漁業、2月分)

今年はタラ漁が芳しくなかったため、エビ曳に向かう船が増加し、漁獲量が増えた。



ヤリイカ漁獲量
(漁業種類別、2月分)

青森県の予想(12月発表)に反して、日本海北部(青森～新潟)の漁獲量は増加した。

最上丸の調査予定 (3月中旬～4月上旬)

底びき網調査、海洋観測

- ・底びき網調査を行います。
- ・海洋観測を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。